

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立

指扇北小学校



本校は、学校教育目標をあかるく（思いやりがあり、前向きにとらえる子）かしこく（進んで学習し、よく考えて正しく判断できる子）たくましく（元気に活動し、根気よくがんばる子）とし「確かな学力」と「体力」の向上が図れる学校を目指している。また、地域に根ざした信頼される学校を目指し、保護者・地域・教職員が一丸となり、日々の教育活動を進めている。



■所在地：さいたま市西区中釘1506-1 ■電話：048-622-4131
 ■FAX：048-622-2358 ■交通：JR川越線西大宮駅徒歩30分

01 SDGsへの関心を高める「SDGsチェックカード」



令和4年度から「SDGs委員会」が発足した。委員会児童と話し合い、「17の目標を達成できるようにしよう」という目標を掲げてスタートした。まずはSDGsのことを知ってもらうためには、どのような手立てが必要かを話し合ったところ、「全ての目標を一度に意識するのは難しい」「学校の中で全学年が取り組めるものにしたい」「17の目標と関連して、毎月17日にSDGsを意識するようにしたらどうか」等の意見が挙がった。

そうした意見を元に「SDGsチェックカード」を作成し、全学年で取り組むこととした。毎月17日を「SDGsチェックデー」とし、17の目標から季節に合わせた3つの目標を設定し、全児童が身近に取り組めそうな具体的な内容に変更してどれくらい意識できたかを三段階で自己評価するカードを作成した（例…水を出しすぎないようにしよう）。また、4つ目の目標は空欄にしておき、自分が意識したい目標を記入し、より自分事として取り組めるようにした。カードは、委員会児童が回収して達成率を計算し、一定基準を超えた学級を校内放送で発表したり、賞状を作って渡したりすることで取り組みの価値を高めていった。



02 福祉に対する意識を高めるための年3回の募金活動

3 すべての人に健康と福祉を



本校では、学期に1回の募金活動を通して、福祉に対する意識を高めている。1学期「緑の羽根募金」、2学期「赤い羽根募金」、3学期「ユニセフ募金」を行い、一週間の期間を設けて取り組んだ。

募金についての保護者向け文書を活用して募金袋を作れるようにし、児童が作成したポスターを縮小して募金袋の表紙デザインになるように工夫した。その都度募金額を校内放送で発表するなど、児童もやりがいを感じて取り組んでいた。

